

過去の出題傾向について確認しておこう！

北大入試研究[日本史]

▶ 出題一覧表

過去 10 年の北海道大学の入学試験(日本史)で出題された分野を、次の表にまとめた。

	①	②	③	④
2016	飛鳥時代の文化財 平将門の乱と武士の台頭	15～16世紀における鉱山 技術の進展	中村正直の軌跡	近現代の史料 (日中戦争開戦当時の回顧 (佐藤賢了「大東亜戦争回顧 録」)。吉田茂の自衛権に関 する見解。)
2015	大宝律令と「日本」の国号、 班田収授の展開 (「下総国葛飾郡大島郷戸籍」)	中世の交通と都市 (「一遍上人絵伝」・「小早川 家文書」)	日本列島の文化圏、幕末期 における村の石高 (「甲斐国八代郡右左口村明 細帳」)	山県有朋、沖縄県の歴史
2014	藤原京出土木簡、平安時代 の文学	琉球王国の歴史	中世・近代の史料 (奥州藤原氏-「玉葉」、日 露和親条約)	地租改正と松方財政、近代 の史料 (「日独伊同盟条約締結要録」)
2013	歴史書の編纂事業、延喜・ 天曆の治と撰閣政治	鎌倉時代の京都と禅宗	近世・近代の史料 (武家諸法度、「新訂 海舟 座談」)	近現代の史料 (大杉栄「自叙伝」、浜口首 相の教育に関する勅語渙発 四十年記念式並記念講演会 式辞祝辞講演・「官報」)
2012	古代の位階制・公営田	中世・近世の史料 (院政・年貢納入に関する 史料)	近世・近代の史料 (「赤蝦夷風説考」・「戊辰物 語」)	近現代の史料 (明治六年の政変・平塚ら いてうの自伝・岸信介の東 南アジア訪問)
2011	古代の総合問題	中世の対外関係と倭寇	近世の総合問題 (「津軽家文書」・「江戸の夕 栄」・「天保武鑑」)	近代の総合問題 (「明治・大正・昭和政界秘 史—古風庵回顧録—」・「寒 村自伝」・所得増進計画に 関する史料)
2010	古代・中世の総合問題	中世～明治維新期の総合問題 (「大乘院寺社雑事記」・「国 史館日録」・「復古記」)	近現代の総合問題 (「クラーク先生とその弟子 達」・「支那事変処理に関す る質問演説」・「憲法第九条 をめぐる若干の考察」)	—
2009	原始・古代の総合問題 (「魏志」倭人伝・「往生要 集」)	元寇後の社会、分国法が示 す政策 (鎮西探題に関する史料・ 「朝倉孝景条々」)	近世の政治・社会 (「守貞謾稿」・「折たく柴の 記」・「一外交官の見た明治 維新」)	明治初期～占領期の総合問題 (牧野伸顕「回顧録」・「原首 相に呈する書」・有馬頼寧 「政界道中記」・「朝日新聞」 1949年3月8日)
2008	原始～中世の総合問題 (美濃国の戸籍・「延喜の莊 園整理令」)	中世の日中貿易、秀吉の禁 教政策 (「徒然草」・「キリシタン禁 制」)	秀吉の朝鮮侵略に関係する 史料 (「毛利輝元卿伝」)	近現代の外交
2007	原始～中世の総合問題 (「日本書紀」・最澄に関す る史料・「菅家文草」)	大覚寺統と持明院統 (皇統に関する史料)	日露和親条約 (「大日本古文書 幕末外国 関係文書三」)	近現代における世論の果た した役割

▶ 分析と対策

近年の北大日本史は出題形式・傾向が一定していないが、特筆点のいくつかをあげれば、①大問数は3問または4問であること、②総字数は400～800字前後であること、③小問の論述字数は30～60字が中心で、比較的字数の少ないものが多く出題されていること、④史料が多く引用されていること、⑤字数を指定しない論述問題が増加していること、となる。設問の要求がややとらえづらいものもあるが、論述問題の多くは教科書レベルの知識で解答できる。こうした傾向を踏まえれば、①テーマを定めるなど目的意識をもって教科書を精読し、教科書を閉じて説明できるかを試してみる、②史料問題集などを利用して多くの史料にあたる、③過去問に取り組むこと、などが必要となる。あとのページの付録も参考にしてほしい。